美桑が丘

校訓『創造敬愛』
下川町立下川中学校
令和7年度学校だより
第2号　R7.5.30発行

子どもの成長を実感するひと時として

校長　越　湖　憲　治

今月の7日（水）から3日間、3年生と一緒に修学旅行に行ってまいりました。修学旅行にはいくつかのねらいがありますが、その中の一つに「互いに協力し助け合いながらリーダーシップやフォロワーシップを高め、より豊かな人間性と社会性を育むこと」があります。3年生の子どもたちが下川中を卒業した次の社会には、今とは違った人間関係が待ち構えています。多くは高校へと進学しますが、それも含めて社会で生活していく上ではずっと様々な人とかかわり続けることとなります。その際に柔軟な対応ができるか否かで生活の豊かさが変わると私は思うのです。

子どもたちは、今回の修学旅行に向けて学年目標である「思考力×行動力×協力」をテーマに掲げて取り組んでいました。私の経験では、修学旅行での成長のポイントに「グループ編制」と「自主研修の計画」があると考えます。そのため、これらを決定する際には、全員が希望通りに事が進めば問題ないのですが、強い主張にばかりに流れていないか、意思を伝えられずに個々が了承しているのではないかなど、みんな平等という観点で子どもたちと対峙していたように振り返ります。しかしながら、今は多様性の時代であり、子どもの個性や能力に合わせて学びを進めることが必要とされています。置き換えると、その本人が納得しているのであれば、みんなで決めた事を尊重すべきではないかということです。その内情を極端に言えば、他を思いやりたくさんのことを受け容れてくれた子もいれば自己を通し続けた子もいたとしてもです。心の成長に個人差がある以上、そんな状態もあるのだと認識する必要があると思うのです。ただ、修学旅行当日を迎え、みんなが思い出に残る教育活動になっていなければならないとは思っています。

さて、同行した修学旅行を振り返ってみると、旧英国領事館・旧函館区公会堂周辺、函館山、五稜郭公園・函館奉行所内、函館駅・ベイエリア、ルスツリゾート遊園地の自主研修をする場面とバス内のレクレーション、ホテル内での自由時間など班や学年全体で、仲間のことを意識して行動をする機会がたくさんありました。当然、完璧ではないですが1日1日の振り返りを行い、より良くなるように互いに話し合い、改善に向かうことができていました。特に私の中で印象に残っているのは、最終日のバスの中です。ルスツ遊園地で遊び、疲れているとは思うのですが、レク担当を中心にほぼ休憩を取ることなくみんなで楽しんでいたことに現時点での3年生の集団を感じることができました。

令和7年度はまだスタートしたばかりです。様々な教育活動を通して卒業を迎えるまでに、どのような集団そしてそれを支える個に成長するのか楽しみにしています。

御礼

5月16日（金）、学校菜園の土おこしを谷組様に行っていただきました。2年生技術科のトマト栽培などで活用していきます。大変ありがとうございました。



地域清掃ボランティア 4/30



４月３０日（水）5・6時間目、地域清掃ボランティアを行いました。これは、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒が縦割り班をつくって協力して地域のゴミ拾いに取り組む活動です。

実施後の児童の振り返りを読んでみると、「中学生が私たちに分かりやすくいろいろと教えてくれて嬉しかった」「ゴミを入れたときに中学生が声をかけてくれて優しいな、嬉しいなと感じた」といった、中学生との交流に満足した意見が多かったです。生徒の振り返りでは、「小学生と交流したことによって仲良くなれてよかった」「小学生がごみをたくさん見つけて拾ってくれたのが嬉しかったし、話しながらごみを拾えて楽しかった」といったように、充実感を味わえたことが感じられました。小中一貫校として小中学生がともに活動するこの取組は、交流を通して互いを認め合う人間関係づくりを図っています。

また、事前に LINE 役場でも参加の呼びかけを行い、保護者や地域の方々にもたくさん参加していただきました。ありがとうございました。

修学旅行 5/7～9

初日は、バスで旭川駅に向かいました。チケットを入れて改札を通る際に緊張する生徒も見られました。日常では味わえない貴重な経験だったと思います。函館に到着後、旧イギリス領事館や旧函館区公会堂をめぐり、夕食後に函館山で夜景観賞しました。

２日目は、五稜郭公園・函館奉行所を見学して歴史的な背景を見て学びました。その後、昼食を含めた自主研修で、「グルメ」「観光」「歴史」の3つの視点から函館の魅力を探るという目的を果たし、留寿都へ移動しました。

３日目の午前中は、観光地として有名なルスツリゾートで仲間とマナーを守りながら楽しんで活動しました。そして、バスや JR を利用して下川に帰ってきました。





修学旅行自主研修の発表会 5/16

旅行前の「総合的な学習の時間」において、あらかじめ2人組をつくってテーマを決め、自主研修で学んだ函館の魅力をスライドにまとめました。そして発表会では、金森倉庫や五稜郭、海産物料理などの函館ならではのものをテーマに自分たちが体験し、学んだことをクイズを交えたり、アニメーションを駆使したりして分かりやすく説明していました。

その中で、函館にあるハンバーガーショップであるラッキーピエロを取り上げたグループは、店舗が函館にしかない理由として「オーナーが地域に恩返しをしたいという思いがあること」を紹介していました。また、「B 級グルメの魅力」を取り上げたグループのスライドでは、「下川町でも食をテーマにした地域おこしをしていきたい」と締めくくられました。これは、2学期に「総合的な学習の時間」で取り組む内容にもつながります。学んだことをこれからに生かす3年生のこれからの成長が楽しみです。

家庭学習強化 Week 1.2 年生



家庭学習の習慣化のため、5 月 7 日(水)～9 日(金)の3日間を強化期間としました。その期間は、生徒自身が帰宅後の生活についてフォーサイト手帳に記録しました。その後、自主的に家庭学習に取り組んで提出する生徒が増えました。

体育祭 5/24

今年度の体育祭は、保護者や地域の方々と共に生徒たちの成長を実感できるよう、さまざまな工夫を取り入れました。

最初の種目である「借り人競争」では、小学生や地域住民の方が参加しやすいお題が出され、生徒たちとともにゴールに向かって協力する姿が見られました。

3つの縦割りチームで競う「全員リレー」は、3年生のリーダーを中心に学年の枠を超えて生徒たちが練習に取り組み、一生懸命仲間を応援する声がグラウンドに響きました。

PTA種目の「綱引き」では、各学年の生徒や保護者、教職員が一緒になって綱を力いっぱい引っ張り、結果を一緒になって悔しがったり、喜び合ったりしていました。

今年度、初めて設けた「公区対抗玉入れ」は、保護者や地域住民、児童や生徒がともに声を掛け合って取り組み、勝負の合間にも自然と交流が生まれました。

最後の種目は、「学年対抗の Y 字綱引き」でした。会場の盛り上がりに急遽、競技を間近で観戦できるようにし、熱戦の迫力を大いに感じていただきました。

体育祭後の生徒たちの感想の中には、さまざまな方と交流できたことの満足感やどの種目も一生懸命にやり切ったことへの充実感を感じていました。









さまざまな種目に参加、協力していただいた皆様、ありがとうございました。

植樹祭 5/16

森林環境学習の一環として、2年生がこども園の園児、下川小 4 年生、下川商業高校の生徒たちとともに植樹体験に参加しました。森林の役割や地域の取組について考え、持続可能な社会に向けて自ら行動する良い機会となりました。





避難訓練　5/21

「調理室から出火」という設定で避難訓練を実施しました。全員が指示に従って「押さない、かけない、しゃべらない、もどらない」を守って迅速に行動し、2分58秒で避難を完了しました。避難後は、代表生徒による消火器体験をして、初期消火の方法を学ぶことができました。

また、3階に設置している緩降機を使った降下を見学し、避難器具の重要性や防災意識を高める良い機会となりました。

下川消防署の皆様、ありがとうございました。





ヒグマ出没対応訓練　5/27

緊急的なヒグマ出没対応について、猟友会、警察、中学校との連携強化を図るために訓練を行いました。

今回は、2 年生が体育の授業中、グラウンドでヒグマが出没したという想定で避難しました。その後、下川町産業振興課の澁谷さんから、警察や役場、猟友会の方々がドローンを駆使してヒグマを駆除する流れを解説していただきました。また、「山に入るときは音を出すこと」「クマが町に入ってこないよう、ごみを出さないこと」「クマに遭遇した際の適切な対応」などを学び、熊スプレー噴射体験を行いました。

全道的にもヒグマの出没が報道されており、万が一に備え、自分の命を守ることへの意識啓発を図りました。







5月18日(日)万里長城祭で吹奏楽部が演奏！

6月の予定

2日(月)	安全点検日
	教育相談～6日
4日(水)	中体連陸上壮行会
5日(木)	中体連陸上北部大会
9日(月)	職員会議
11 日(水)	上教研ブロック班研修会
18日(水)	内科検診、中体連壮行会
19日(木)	中体連北部地区野球大会
20日(金)	中体連北部地区大会①
21 日(土)	中体連北部地区大会②
23日(月)	テスト前学習会～25 日
25日(水)	諸費納入日
26日(木)	1学期末テスト①
27日(金)	1学期末テスト②　常任委員会
30日(月)	校内研修
	PTA 運営委員会